

指標 10.5.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 10.5.1 金融健全性指標

ターゲット 10.5 世界金融市場と金融機関に対する規制とモニタリングを改善し、こうした規制の実施を強化する。

ゴール 10 各国内及び各国間の不平等を是正する

10.5.1-5 Return on assets

定義及び根拠

- 定義
当指標は、(FSI ガイドで推奨されているように) 特別項目及び税金控除後の年換算純利益を、同期間の期初と期末の 2 時点の総資産の末残の平均値(金融及び非金融) で割ることによって計算される。
- 概念
分子は、特別項目と税金を差し引いた年換算純利益である。分母は、同期間の期初と期末の 2 時点の総資産の末残の平均値(金融及び非金融) である。
- 根拠及び解釈
これは銀行の収益性の指標であり、預金受領者の資産使用効率を測定するためのものである。

データソース及び収集方法

当期純利益を除く全てのデータは定期的に銀行から金融庁(日本銀行)に報告される。当期純利益は、一般に開示された資料に記載された計数を使用している。全ての銀行の会計データは国内会計規則に準拠している。

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法
当指標は、(FSI ガイドで推奨されているように) 特別項目及び税金控除後の年換算純利益を、同期間の期初と期末の 2 時点の総資産の末残の平均値(金融及び非金融) で割ることによって計算される。
- コメントと限界
会計基準は一般的に日本基準に従う。

サンプルから除外された銀行は、金額に関しては重要ではない。

データの詳細集計

なし

参考

IMF FSI Compilation Guide Chapter 7. Specification of Core Financial Soundness Indicators for Deposit Takers

<https://www.imf.org/External/pa4158/fsi-guides/chapter-7.pdf>

IMF SDDS Plus Metadata

(Japan) : <https://dsbb.imf.org/sddsplus/dqaf-base/country/JPN/category/FSI05>

データ提供府省

金融庁（日本銀行）

関連政策府省

金融庁

担当国際機関

国際通貨基金（IMF）